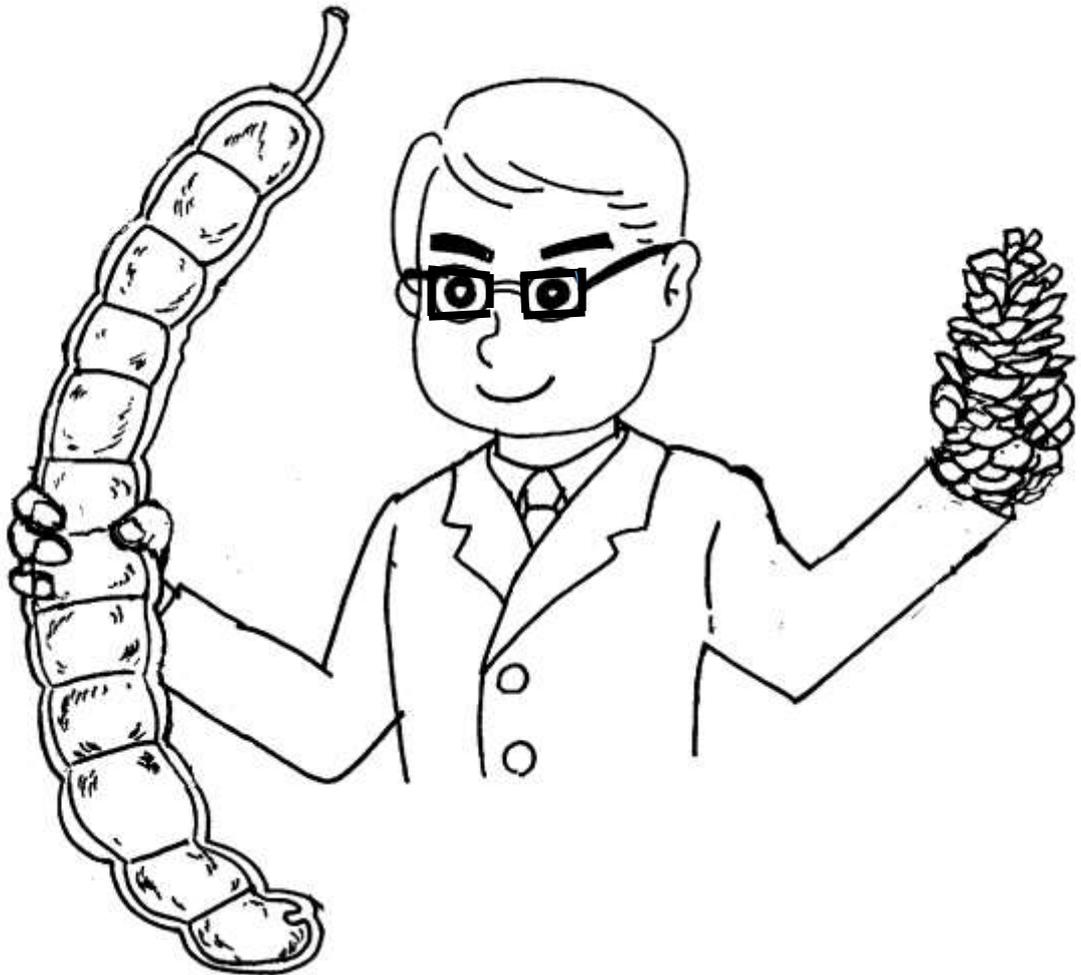


# 花ちゃん・オー君・モンタ博士・マツ博士のくわくわく対決してくる

国立市立国立第七小学校

平成29年10月11日 NO.56 (456)



オー君 「うわあ！<sup>おお</sup>大きな<sup>まめ</sup>豆だ。」

モンタ博士「いいだろう。いいだろう。モンタ博士の<sup>はかせ</sup>宝物<sup>たからもの</sup>さ。」

花ちゃん 「うわあ！<sup>おお</sup>大きなマツボックリですね。」

モンタ博士「すごいだろう。すごいだろう。モンタ博士の<sup>はかせ</sup>宝物<sup>たからもの</sup>さ。」

オー君 「その大きな<sup>おお</sup>枝豆<sup>えだまめ</sup>みたいなものは、<sup>なん</sup>いったい何ですか。」

モンタ博士「この大きな<sup>おお</sup>豆<sup>まめ</sup>はね、『モダマ』というものなんだ。」

オー君 「『モダマ？』<sup>はじ</sup>初めて<sup>き</sup>聞く<sup>なまえ</sup>名前ですね。」

モンタ博士「いいだろう。すごいだろう。<sup>おお</sup>大きいだろう。これは、<sup>せかい</sup>世界で<sup>いちばん</sup>一番<sup>おお</sup>大きな<sup>まめ</sup>豆な

んだ。日本では、沖縄などの南の島や東南アジア、そのほか、熱帯の地方などにみられる植物なんだ。」

花ちゃん 「その大きなマツボックリは、いったい何ですか。」

モンタ博士 「これはね、『シュガーパインコウン』というものなんだ。」

花ちゃん 「『シュガーパインコウン?』これも初めて聞く名前ですね。」

モンタ博士 「いいだろう。すごいだろう。大きいだろう。これは、世界で一番長いマツボックリなのさ。日本のものではなくて、外国のものなんだ。」

オー君 「ところで、どうしたんですか。その大きな枝豆とマツボックリを・・・。」

モンタ博士 「これはね、何年か前のクリスマスプレゼントなのさ。」

花ちゃん 「クリスマスプレゼント?」

モンタ博士 「そうさ。クリスマスの時に、奥さんに、何かほしいものは?と言われてね。」

オー君 「それで・・・。」

モンタ博士 「特にほしいものはないなあと思ったけどね、もし、モダマが手に入ればうれしいなあと思ってね。いろいろと調べてね、インターネットで買えるということがわかったのさ。それで、奥さんからのクリスマスプレゼントということで、もらったというわけさ。」

花ちゃん 「それにしても、クリスマスプレゼントに大きな枝豆とマツボックリというのは、ちょっとかわっていますね。」

モンタ博士 「でも、まあいいさ。今から20年くらい前に沖縄西表島のジャングルで、生まれて初めてモダマを見て超感動してね、ずうっとほしくてね、やっと手に入れられて超うれしいのさ。超満足なのさ。モンタ博士の宝物なんだ。校長室前に置いておくから見えてね。さわってももちろんいいよ。」

## 巨大な豆・・・モダマ

モダマは、アフリカからアジアまでの熱帯と亜熱帯のマングローブ林や海岸近くの常緑樹林で見られるつる性のマメ科常緑植物です。日本では屋久島から沖縄にかけて分布しています。大きなマメのさやは木質で長さ1m、幅10cmにもなり、さやの中には直径5cm程度の種子が9~13個入っています(モダマの種子も持っていてモンタ博士の宝物です)。「モダマ」の種子を、海藻の玉に見立て「藻玉」と呼ばれるようになり、種子には内部に空間があり、海水に浮かぶことができます。種子が海流に乗って移動することで、モダマはその分布を広げていくことができます。日本では千葉県や新潟県の海岸まで、モダマの種子が漂着することがあります。